



## 市東さんの農地＝命を守り抜こう！

# 最高裁「上告棄却」決定弾劾！

成田市天神峰の市東孝雄さんの農地をめぐる請求異議裁判で、最高裁第三小法廷（長嶺安政裁判長）は、6月8日付で上告を棄却する決定を下りました。

強制執行の違憲性、不当性を不問に付し、成田空港会社（NAA）による農地取り上げ強制執行にお墨付きを与えたのです。断じて許すことはできません。（3面に弾劾声明）

私たちはすでに「何があろうとこの地で畑を耕し続ける」という市東さんの決意と意思を共有し、最高裁署名を全国に呼びかけると同時に、4月1日から強制執行実力阻止態勢をとってきました。強制執行は絶対に許されないという声は今や地に満ちています。

7月11日に開催する天神峰檜の木まつりは、あらためて農民としての誇りにかけて農地を守る市東さんの決意を共有し、抵抗の根を広く、深く大地に張るための集会です。



市東さんの耕す畑で（4月1日）

菅政権は東京五輪を最優先するばかりか、今通常国会で改憲・戦争国家化を推し進める法案を次々と成立させました。コロナ危機を利用して戦争のできる国へと転換するために、私たちの権利を踏みしめる強権支配を強めています。

国や企業が自由に土地を奪えるよにすることは戦争への一里塚です。農地取り上げの強制執行阻止は、三里塚闘争55年の真価をかけて、菅政権による戦争への道を阻む闘いでもあります。7・11天神峰檜の木まつりにぜひ集まって下さい。

市東さんの農地を守ろう 第3滑走路建設阻止！

## 7・11天神峰檜の木まつり

7月11日（日）13時～ 市東さんの南台の畑集合

13時半～ デモ出発

14時～ 市東さん宅中庭で交流会

※6月21日（月）の耕作権裁判はコロナで延期となりました。

## 相川芝山町長による言論・集会弾圧を許さない！

# 審査請求 芝山町に反論書を提出

すでにお知らせしている通り、私たちは相川勝重芝山町長による空港機能強化反対集会への芝山文化センター貸し出し拒否問題について行政不服審査法に基づき処分の取り消しを求める不服申し立て（審査請求）を行っています。

6月18日、私たちは相川町長の弁明書に対する反論書を提出しました。

芝山町は4月20日付弁明書の中で、私たちが会場貸し出し申請を行った際の窓口ではまったく触れていなかった2つの「事件」を持ち出して貸し出し拒否の根拠としています。

一つは、「1984年3月定例議会での議場乱入事件」です。ところが、この議場乱入事件は当時の会議録からも明らかなように相川、石毛博道両議員（当時）と石井新二氏らが共謀し引き起こしたものです。私たち反対同盟は町議会議員であった鈴木幸司さんを除き、誰一人議場に入ることはできませんでした。相川町長自身が首謀者であった事件がどうして反対同盟への貸し出し拒否の理由になると言うのでしょうか。

二つ目は、2017年の第3回芝山町議会臨時会での「関係者と思われる人物」の偽名での傍聴というものです。

しかし、そもそも芝山町議会は反



芝山町役場に反論書を提出しました（6月18日）

対同盟の主催ではありません。反対同盟主催の集会とまったく関係のない事案を予断と偏見に基いて故意に結びつけるという悪質な言いがかりです。そもそも反対同盟が主催する集会で「関係者と思われる人物」が偽名を使う必要はまったくありません。

町が挙げた2つの「事件」は反対同盟と無関係どころか、相川町長とその町政が原因といっても過言ではありません。

相川町長は直ちに会場貸し出し拒否を撤回し、私たちに謝罪すべきです。

今後、反論について口頭で意見陳述も行います。その際は、ぜひ芝山町の対応と私たちの主張をみなさんの目と耳で確かめて頂きたいと思っております。口頭意見陳述の傍聴の日時と場所など詳しいことが決まりましたらまたお知らせしますので、ぜひご注目下さい。

# 弾劾声明

反対同盟員・市東孝雄さんの農地取り上げ強制執行を阻む請求異議裁判で、最高裁判所第三小法廷・長嶺安政裁判長は6月8日付で上告を棄却し、上告審として受理しないという決定を下した。この最高裁決定は、成田空港株式会社（NAA）の数々の違法・脱法、憲法違反にフタをし、国策に農民は黙って農地＝命を差し出せというものであり、市東さんへの「死刑判決」そのものだ。満身の怒りをもって弾劾する。われわれはこの暴挙に対し、強制収用実力阻止態勢を強化・拡大し、一丸となって決起することを宣言する。

昨年12月17日の東京高裁での控訴棄却から半年、3月8日の上告理由書、上告受理申立書の提出からわずか3カ月のスピード決定は、追い詰められた国・NAAの焦りと危機の表れに他ならない。

昨年度の成田空港の利用者数は前年度比でわずか8%。航空需要バブルは弾け飛び、成田は今や廃港寸前だ。これは一過性のものでは断じてない。気候危機やコロナ・パンデミックは、世界中の自然を破壊し、膨大な化石燃料を消費して大量の人と物を高速で移動させる航空産業とその拠点である空港に根本的否定を突き付けている。スウェーデンの環境活動家・グレタさんはじめ多くの若者が環境破壊をもたらす資本主義にNOの声を上げ、「飛び恥」運動など様々な行動に立ち上がっている。全世界で空港の整理縮小が始まる中、成田を軍事以外の目的で拡張する理由など存在しない。

農地取り上げ強制執行の緊急性、必要性、正義性は微塵（みじん）もない。最高裁が認めようとも、3代100年耕す肥沃な農地で完全無農薬有機野菜を育て消費者に届ける市東さんの営農を破壊することなど絶対に許さない。

われわれは、さまざまな困難を打ち破り、55年にわたって「軍事空港絶対反対、農地死守・実力闘争」を掲げ、農地を守り勝利してきた。今こそこの原則を貫き、全国・全世界の労働者、農民、学生、市民と固く連帯して強制収用を実力で阻止し、徹底的に闘い抜くことを宣言する。

2021年6月13日

# 地域住民の声

今回は空港北側の成田市と茨城県稲敷市の住民から。政府のデタラメなコロナ対応、特に水際対策の適当さへの怒り、旋回地域に住み、夜も眠れないという切実な声が寄せられました。

◆当たり前のことをやらない政治は許せない。水際対策をちゃんと行え。

成田市 会社員 (男性)

飛行機が飛んでいない空港を拡張するお金があるなら、飲食業など苦しんでいる人たちにまわすべきだ。

水際対策が不徹底だから変異株がどんどんと入ってきている。小泉市長も国に補助を求める前に水際対策をしっかり行えと要求するべきだ。

そもそも国はPCR検査を徹底的に行っていないのでコロナ感染者の全体

の分母、実態が本当のところはわからない。分子だけ発表したって対策になっていない。

今の政治は当たり前のことをやっていない。にもかかわらず、漢字もろくに読めない財務大臣はコロナが終われば増税するなんて言っている。絶対に許せない。

◆屋根から騒音。防音工事も効果がない。轟音で夜も眠れない。

稲敷市 会社員 (男性)

防音工事をしたが、飛行機の音は屋根から入ってくるので効果がない。夜中に飛ばれると眠れなくて困っている。

この地域は飛行機が旋回する場所。変更を求めてもNAAは国交省の管轄だと言って門前払いで許せない。

今ですら騒音で子育て世代が地元からいなくなっているのに、空港機能強化で発着回数を増やし、B滑走路を1千<sup>m</sup>北側に延伸なんて絶対に認められない。

## 7・28新やぐら裁判控訴審に集まろう!

7月28日、成田市天神峰の市東さんの耕す天神峰農地に建つ反対同盟所有のやぐら・看板の収去と土地の明け渡しをめぐる裁判の控訴審が東京高裁（白石史子裁判長）で行われます。

成田空港会社（NAA）は、やぐらと看板の建つ農地の所有者ではありません。耕作者に秘密裏に「買収」し、その事実を15年も黙ったまま元の地主に地代

を払わせ続けていたからです。

一審では「買収」過程にかかわった元公団用地部長など必須不可欠な証人調べを行っていません。高裁では徹底審理が尽くされなくてはなりません。高裁包囲デモと傍聴にぜひ駆けつけて下さい。

◎7月28日（水）午前11時半

日比谷公園霞門集合→霞が関デモ

午後2時開廷 東京高裁